資料１

第３期中期目標期間の業務実績に関する項目別評価

令和８年 11 月９日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会

第１項　評価結果一覧

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分％(c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
１住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	１公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	（１） 救急医療への対応	4	4	5	20	20
		（２） 災害時における機能の強化	5	5	5	25	25
		（３） 感染症対策の強化	5	5	5	25	25
		（４） 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25	25
					20	95 (4.75)	95 (4.75)
	２高度・専門医療の提供	（１） がん医療の充実	4	4	5	20	20
		（２） 循環器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		（３） 消化器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		（４） 周産期医療の充実	4	4	5	20	20
		（５） 小児医療の充実	5	5	5	25	25
		（６） センター診療機能の更なる充実	4	4	5	20	20
		（７） 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25	25
		（８） 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25	25
					40	175 (4.37)	175 (4.37)
	３安全で信頼される医療の提供	（１） 医療安全管理及び感染対策の徹底	4	4	5	20	20
		（２） 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目１の合計（１４項目）				**70**	**310 (4.42) A**	**310 (4.42) A**

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分％(c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	（1） 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16	16
		（2） コンプライアンスの徹底	4	4	4	16	16
					8	32 (4.00)	32 (4.00)
	2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	（1） やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	4	4	5	20	20
		（2） 働き方改革の推進	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目２の合計（４項目）				**18**	**72 (4.00) A**	**72 (4.00) A**
3 財務内容の改善に関する事項	1 経営基盤の強化		5	5	5	25	25
	2 収入の確保及び費用の最適化		5	5	5	25	25
	大項目３の合計（２項目）				**10**	**50 (5.00) S**	**50 (5.00) S**
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	（1） 地域社会との協働の推進	4	4	2	8	8
					2	8 (4.00)	8 (4.00)
	大項目４の合計（１項目）				**2**	**8 (4.00) A**	**8 (4.00) A**

〈加点項目〉

中期計画・年度計画に定める項目			評価		加点比率％(c)	加点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	（2） 市施策への協力	4	4	3	**12**	**12**

第２項　項目別評価

（１）大項目評価結果一覧

大項目１　　住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
310 点	70	4.42 点	S	A	B	C	D

大項目２　　業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
72 点	18	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目３　　財務内容の改善に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
50 点	10	5.00 点	S	A	B	C	D

大項目４　　その他業務運営に関する重要事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
8 点	2	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目４　　その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

小項目評価点	加点比率	加点
4 点	3	12 点

【地方独立行政法人加古川市民病院機構　中期目標期間評価実施要領（抜粋）】

別表４　大項目評価における評価の基準

評価	コメント	評価の基準
S	中期目標・中期計画を大幅に上回っており、特に評価すべき状況にある。	４．５ ≦ X
A	中期目標・中期計画を十分達成している。	３．５ ≦ X ＜ ４．５
B	中期目標・中期計画を概ね達成している。	２．５ ≦ X ＜ ３．５
C	中期目標・中期計画をやや未達成である。	１．５ ≦ X ＜ ２．５
D	中期目標・中期計画を大幅に下回っている、または重大な改善すべき事項がある。	X ＜ １．５

備考

１　Xは、当該大項目内の各小項目評価の評点に別表２の配分比率を加味して導いた評価点。

２　評価に当たっては、当該大項目内の各小項目評価の評点から大項目全体を機械的に判断するだけでなく、必要に応じ、重要な意義を有する事項や優れた取組がなされている事項その他法人を取り巻く諸事情も考慮して行う。

（２）大項目別評価

１ 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

① 評価結果

S 特に評価 すべき状況	A 十分達成 している	B 概ね達成 している	C やや 未達成である	D 大幅に 下回っている

14 項目のうち、「災害時における機能の強化」をはじめ６項目で中期計画を十分に達成しており、残りの８項目についても、中期計画を達成している。

中期目標期間評価実施要領に基づき、小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．４２」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画を十分達成している。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	（１） 救急医療への対応	5	4	4	20
	（２） 災害時における機能の強化	5	5	5	25
	（３） 感染症対策の強化	5	5	5	25
	（４） 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25
	中項目　計	20	－	－	95 (4.75)
２高度・専門医療の提供	（１） がん医療の充実	5	4	4	20
	（２） 循環器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	（３） 消化器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	（４） 周産期医療の充実	5	4	4	20
	（５） 小児医療の充実	5	5	5	25
	（６） センター診療機能の更なる充実	5	4	4	20
	（７） 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25
	（８） 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25

	中項目　計	40	－	－	175 (4.37)
３安全で信頼される医療の提供	（１） 医療安全管理及び感染対策の徹底	5	4	4	20
	（２） 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	5	4	4	20
	中項目　計	10	－	－	40 (4.00)
合　計		70	－	－	310 (4.42)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ３１５ ÷ ７０

≒ ４．４２

② 特筆すべき小項目評価

１－（１） 救急医療への対応　　【評価：４】

・救急車受入要請に対する不応率は、コロナ禍以降の受療動向や社会環境の変化を十分に見通せない中で設定した目標であったことから、目標指標を達成できなかったが、救急受入体制を継続的に維持し、救急車受入件数は増加傾向にあるほか、達成率も 90%以上を確保しており、地域救急医療への貢献という観点から評価できる。
・救急受入体制を維持し、コロナ禍においてもその堅持に努めた。
・救急車受入件数は減少しているが、不応率は若干減少している。ドクターカー運行件数が増加するなど、良くなった数値も悪くなった数値もあるが全体としては救急受入体制を維持しているので、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしている。
・一部達成できていない項目もあるものの、取組事項は概ね目標が達成されており、数値目標も平均して 95%達成されている。24 時間 365 日の受入体制維持も評価できる。

１－（２） 災害時における機能の強化　　【評価：５】

・５年間で災害支援看護師の登録者数が増加しており、地域災害拠点病院としての人材確保と災害対応体制の強化が進んでいる点は評価できる。一方、災害派遣医療チームに係る訓練や研修の受講者数については、更なる増加が望まれる。
・災害拠点病院としての体制を整備し、受入の維持に努めた。
・DMAT の２隊編成を可能としたこと、及び災害レベルに応じた対応を明記する等、災害時における救急体制がより整備された。
・取組事項は全て達成されており、実際に DMAT での活動実績もあるうえ、継続的に災害時の対応力の向上を図っている。

１－（３） 感染症対策の強化　　【評価：５】

・コロナ禍においては、最大 52 床の受入病床を確保し、感染拡大期における地域医療体制の維持に貢献した。また、コロナ禍収束後も常時 18 床の受入病床を確保するとともに、約３か月分の衛生資材を継続的に備蓄するなど、今後も地域の中核医療機関として、感染症対応体制の継続が期待される。
・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、医療提供体制を堅持した。
・コロナ禍が落ち着いたとはいえ、備えは必要である。資材の備蓄が３ヶ月分あり、感染症対策診療継続計画に従った診療を行ったことを評価する。
・取組事項はすべて達成されており、公立病院として、十分な感染症への対応及びその強化を行われてきたものと評価できる。

１－（４）地域の中核医療機関としての役割の発揮　　【評価：５】

・地域の中核医療機関として求められる役割を着実に果たしており、医療提供体制の充実や地域医療への貢献に継続して取り組んできた結果、５年間を通じて全ての目標指標において 100%を超える実績を達成している点は評価できる。
・目標指標の達成率が 100%以上で、地域医療支援病院として貢献した。
・いずれの目標も達成しており、公式 LINE での情報発信等、住民に対するサービスは向上している。
・数値目標は 100%、取組事項も全て目標を達成されており、地域包括ケアシステムの推進への貢献など十分に目標を達成した。

２－（１）がん医療の充実　　【評価：４】

・がん登録件数は、乳腺外科新設に伴う増加を十分に見込まない高い目標設定により、５年間の達成率は 64.6%にとどまった。しかし、実績を踏まえると登録件数は概ね妥当な水準で推移しており、診療機能の拡充に伴う成果として評価できる。今後は実績や環境変化を踏まえた目標設定と、更なるがん診療体制の充実を期待する。
・がん集学的治療センターが中心となり、専門的治療や患者ケアを推進した。
・がん登録件数及び悪性腫瘍手術件数の達成率が良くないが、目標数値が適切でなかったことを踏まえ、また、他の指標が 100%を超えていることを評価する。
・数値目標は未達のものが２項目あるものの、他の３つの項目が目標を大きく上回っていることと、取組事項も概ね達成されている。

２－（２）循環器疾患にかかる医療の充実　　【評価：４】

・PCI 件数の減少は、対象となる症例数の減少に伴うものであり、地域の疾病動向や患者ニーズの変化を反映した結果と考えられる。また、PTA 件数の達成率が 24.1%にとどまった要因としては、専門医の異動により実施件数が減少したことが挙げられる。しかし、その他の目標指標については全て 100%を超える実績を達成しており、診療機能の維持・向上に努め、地域医療に貢献している点は評価できる。
・救急体制・低侵襲治療・新規医療技術・総合治療体制の推進、導入、充実に努めた。
・PCI、PTA の達成率が低下しているが、心不全ホットラインの開設等、リハビリテーション実施件数は大幅に増加しており、積極的な取組を評価する。
・数値目標は未達のものが２項目あるものの、想定外の事情があり他の４つの項目が目標を上回っていることと、取組事項も概ね達成されているため、心臓血管センターの充実は図られた。

２－（３）消化器疾患にかかる医療の充実　　【評価：４】

・EMR 及び ESD 件数が目標未達成となった要因としては、５年間で内視鏡治療における処置方法や適応が変化したことが影響したと考えられる。一方、その他の目標指標については全て 100%を超える実績を達成しており、診療機能の充実と質の高い医療提供体制を維持している点は評価できる。
・救急医療体制の充実を図った。特殊内視鏡検査のレベル向上を図った。
・目標未達の項目もあるが、納得できる理由があり、ダヴィンチでの手術の適用範囲を結腸がんに広げる等、新しい治療方法を推進した。
・数値目標は未達が２項目あるものの、想定外の事情もあり、他の４つの項目が目標を上回っていることと、取組事項も概ね達成されている。

２－（４）周産期医療の充実　【評価：４】

・全分娩件数に占めるハイリスク分娩の割合は約 20％で推移しており、概ね目標値を達成しているものと評価できる。また、無痛分娩による分娩件数の増加が見込まれる中、今後も安全かつ質の高い周産期医療を継続的に提供できるよう、ハイリスク分娩への対応体制の維持・強化を図るとともに、産婦人科医や助産師など必要な人材の確保・育成に努めることが期待される。
・地域周産期母子医療センターの機能を堅持し、新生児高度医療の提供に努めた。
・ハイリスク分娩の件数の達成率が低いが、無痛分娩の運用を開始するなど、地域周産期母子医療センターの機能を果たしている。
・数値目標が平均して 90％を大きく上回り、取組項目も概ね達成されている。引き続き総合周産期母子医療センターの整備に取り組んでいただきたい。

２－（５）小児医療の充実　【評価：５】

・多岐にわたる小児医療の実践に加え、24 時間 365 日体制で小児救急患者の受入に継続して取り組むなど、地域における小児医療の中核的役割を果たしている。こうした取組の結果、中期計画における目標は 99.9％を達成しており、質の高い小児医療及び救急医療を安定的に提供している点は評価できる。
・小児救急から高度専門治療まで、総合的な小児医療を提供し続けた。
・達成率はほぼ 100％であり、様々な治療を行って小児医療の地域の拠点となっている。
・数値目標がほぼ 100％達成されており、取組事項もすべて達成されている。小児地域医療センターにおいて、中期目標に沿った十分な小児医療を提供されたと評価できる。

２－（６）センター診療機能の更なる充実　【評価：４】

・各センターの活動は指標データがないため、ホームページ掲載内容を基に評価した。新たな呼吸器センターの設置による専門医療体制の充実に加え、周産母子センター及びがん集学的治療センターの医師による動画配信は、地域住民への分かりやすい情報提供と安心感の醸成に寄与している。また、こどもセンターでは育児サークルの活動が可視化されており、市民がニーズに応じて利用を選択できる環境が整備されている点は評価できる。
・６大センター各々で高度・専門医療の提供に努めた。
・呼吸器センターを有効活用し、センター機能を地域に発信することでより地域医療に貢献することを期待する。
・すでに６大センターの設置を完了されたうえで、情報発信も行っており、今後も具体的な機能強化を検討されている点は評価できる。

２－（７）総合診療体制とチーム医療の充実　【評価：５】

・手術件数は年々増加しており、診療機能の充実が図られている。また、早期栄養管理介入による術後在院日数の短縮など、多職種連携によるチーム医療の推進により、各目標指標は概ね 100％前後の達成率を維持しており評価できる。
・多職種によるチーム医療を推進して高度・専門医療を提供した。
・目標数値をほぼ達成しており、高度・専門医療の提供及びチーム医療も推進している。
・数値目標がほぼ 100％達成されており、取組事項もすべて達成されている。地域における高度・急性期医療の提供体制が評価されている点も踏まえれば、一部数値目標がわずかに未達でも、中期計画は十分に達成されたと評価してよい。

２－（８）高度・専門医療を提供する人材の確保と育成　　【評価：５】

・目標指標の達成率は 100％を超えており、計画に沿った取組が着実に実施されていると評価できる。また、専門職を対象とした研修やキャリアアップ支援により資格取得者が年々増加していることは、人材育成の成果として評価できる。これらの取組は職員の専門性向上と、より質の高い医療・サービスの提供につながり、組織全体の機能強化に寄与している。
・2025 年度の初期研修医はフルマッチとなり、1 位希望人数が兵庫県 4 位となった。
目標指標の達成率も充実したものであった。
・医師、看護師の数も目標を達成しており、研修制度も充実している。専門医の資格取得者も増えており、人材確保と育成の点で十分な結果を残している。
・数値目標が全て 100％を超える高い水準で達成されており、取組事項もすべて達成されている。研修医からの評価が地域でも継続的にトップレベルであることなどを考えれば中期計画を十分に達成していると評価できる。

３－（１）医療安全管理及び感染対策の徹底　　【評価：４】

・2025 年度のインシデント件数は前年度の約５倍となっているが、積極的な報告は医療安全に対する職員の意識向上の表れとも評価できる。今後はインシデント分析結果の共有と手順書の活用を通じて、再発防止と医療安全の更なる向上につながることを期待する。
・医療安全文化の確立、新興感染症対策の整備に努めた。
・ヒヤリハットレポート件数は減少しているがインシデント件数は増加している。しかし、定期的な研修を行い、院内の安全・感染対策に注力していることを評価する。
・取組事項はすべて達成され、医療安全管理や感染症対策は万全と思われるため、５の評価でも良いと考えるが、インシデント件数の増加と更なる改善の余地があることを踏まえ、法人自己評価と同じにした。

３－（２）患者とともに進める医療の推進とサービスの充実　　【評価：４】

・入院・外来患者満足度はいずれも目標を 100％超で達成しており評価できる。一方、感謝の意見に比べ苦情の割合が３倍以上となっていることから改善の余地が認められる。
・インフォームド・コンセントの徹底、相談・支援体制の充実を図った。
・目標数値は達成しており、サービスの充実に努めている。
・数値目標は 100％、取組事項も全て目標を達成されており、安全で信頼される医療の推進とサービスは十分に達成されている。

２ 業務運営の改善及び効率化に関する事項

① 評価結果

S 特に評価 すべき状況	A 十分達成 している	B 概ね達成 している	C やや 未達成である	D 大幅に 下回っている

４項目のうち、「効率的・効果的な組織運営」をはじめ全ての項目で中期計画を達成している。

中期目標期間評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．００」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画を十分達成している。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１自律性・機動性・透明性の高い組織運営	（１） 効率的･効果的な組織運営	4	4	4	16
	（２） コンプライアンスの徹底	4	4	4	16
	中項目 計	8	－	－	32 (4.00)
２働きやすく､やりがいのある職場づくり	（１） やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	5	4	4	20
	（２） 働き方改革の推進	5	4	4	20
	中項目 計	10	－	－	40 (4.00)
合 計		18	－	－	72 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ７２ ÷ １８

≒ ４．００

② 特筆すべき小項目評価

１－（１）効率的・効果的な組織運営　【評価：４】

・広報誌の発行やホームページを活用した情報発信に継続して取り組み、病院の取組や医療情報を地域住民へ効果的に発信している点は評価できる。機構ニュースレターの発行回数は 2023 年度の 7 回から 2025 年度には 3 回へ減少しているものの、広報誌やホームページを活用した情報発信は維持されている。また、ホームページの満足度が 80%を超えていることから、利用者のニーズに応じた情報提供が行われており、情報発信に関する中期計画は概ね達成されていると評価した。
・所管業務や職務権限を明確にし、効率的・効果的な業務運営を実現した。
・ニュースレターの発行回数は減少しているが、ホームページの満足度は上昇しており、地域住民に情報を提供している。また、電子カルテ更新により効率的な運営が実現されている。
・取組事項はすべて達成されており、概ね目的は達成されていると評価できる。他方で、ニュースレターの発行回数が減少傾向にあることと、課題があるという法人自己評価を踏まえて同じとした。

１－（２）コンプライアンスの徹底　【評価：４】

・コンプライアンスに関する研修会への参加者数は年々増加しており、院内におけるコンプライアンスに対する認識の共有と統一が図られ、適正な組織運営を支える基盤の強化につながっている。
・個人情報の保護や情報セキュリティ対策を適切に実施し、組織全体の透明性を確保した。
・情報開示件数、コンプライアンス研修参加者数ともに増加しており、病院全体での意識の高さが窺える。
・取組事項はすべて達成されており、目的は達成されていると評価できる。情報開示やコンプライアンス研修参加者も顕著に伸長しており、所期の目的を十分に達成した。

２－（１）やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実　【評価：４】

・職員満足度に係る目標指標は、継続して 70%を超えており、一定の成果が認められる。一方で、満足度の評価項目が明確でないため、数値のみでは具体的な評価が難しい。今後は調査項目や分析結果を明示し、課題の把握と改善につなげることを期待する。
・コミュニケーション活性化プロジェクトを推進して職員満足度の向上に努めた。
・職員満足度は上昇しているが、2 年前よりは減少している。システミックコーチングの導入によりコミュニケーションの活性化を図り、仕事への意欲の向上に努めている。
・数値目標は 100%超で、取組事項はすべて達成されており、目的は十分に達成されていると評価できる。まだ伸長の余地がある部分とは思うが、当該取組が実際に人材獲得・医師の確保においても高い評価を得られており、特に評価できる。

２－（２）働き方改革の推進　【評価：４】

・働き方改革の推進に継続して取り組んでいる点は評価できる。一方、長時間勤務の実績が増加していることから、労働時間の適切な管理と継続的なモニタリングを行い、職員の健康確保と働きやすい職場環境の整備に一層努める必要がある。
・医療安全を確保しつつ、医師から多職種へのタスクシフティングを円滑に推進した。
・長時間勤務実績は増加しているものの、変形労働適用率も上昇しており、働き方改革は進んでいるものと認められる。
・取組目標は全て達成されていますが、院内保育利用者数が減少傾向にあることや、労働時間管理の問題があったことから、更なる向上を期待する。

３ 財務内容の改善に関する事項

① 評価結果

S	A	B	C	D
特に評価すべき状況	十分達成している	概ね達成している	やや未達成である	大幅に下回っている

「経営基盤の強化」及び「収入の確保及び費用の最適化」のいずれの項目も中期計画を十分に達成している。

中期目標期間評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「５．００」であり、４．５以上であることから「中期目標・中期計画を大幅に上回っており、特に評価すべき状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％(a)	法人	評価委員会	
			評価(b)	評価(c)	評価点(d)
１経営基盤の強化	※　小項目なし	5	5	5	25
	中項目　計	5	－	－	25 (5.00)
２収入の確保及び費用の最適化	※　小項目なし	5	5	5	25
	中項目　計	5	－	－	25 (5.00)
合　計		10	－	－	50 (5.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ５０ ÷ １０

≒ ５．００

② 特筆すべき小項目評価

１ 経営基盤の強化　　【評価：５】

・全ての目標指標で達成率100%以上を維持しており、計画に基づく取組が着実に実施され、十分な成果を上げている。
・収益の確保と費用の抑制により収支の均衡を図った。
・経常収支比率のみ低下しているが、ほぼ健全な状態で、経営基盤はより強固となっている。
・99.9%の項目が１つあるものの、他の数値目標は高水準で達成され、取組事項も全て達成している。医療を取り巻く経営環境の厳しさも踏まえると、この実績は素晴らしいと評価できる。

２ 収入の確保及び費用の最適化　　【評価：５】

・コスト削減プロジェクトを立ち上げ、病院全体でコスト意識の醸成と経営改善に向けた取組を推進している点は評価できる。こうした取組の結果、各目標指標の達成率は概ね 100%前後で推移しており、効率的かつ安定的な病院運営に努めている。
・急性期基幹病院としての患者の確保と、コスト管理を徹底して費用の最適化を実施できた。
・目標指標は平均では 100%を超えているが、個別の達成率にはバラツキがある。材料費、医薬品費の比率が高い。これらの値上がりは今後も続くと思われるので、収入を増加させながら費用の削減にも注力していただきたい。
・財務面では素晴らしい結果であり、材料費・医薬品費が高騰する中で、上手くコントロールしているが、評価基準に沿うと 5/9 の数値目標が未達で、今後の更なる努力も期して、4 とする。

４ その他業務運営に関する重要事項

① 評価結果

S 特に評価 すべき状況	A 十分達成 している	B 概ね達成 している	C やや 未達成である	D 大幅に 下回っている

「地域社会との協働の推進」の項目について、中期計画を達成している。

中期目標期間評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．００」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画を十分達成している。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１地域社会への貢献	（１） 地域社会との協働の推進	2	4	4	8
	中項目　計	2	－	－	8 (4.00)
合　計		2	－	－	8 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ８ ÷ ２

≒ ４．００

② 特筆すべき小項目評価

１－（１） 地域社会との協働の推進　　【評価：４】

・地域住民との交流事業への参加機会を拡充することは重要であるが、職員の業務負担の増加が懸念される。持続的な事業運営を図るためには、ボランティア登録者数の確保・拡大に努め、職員の負担軽減と地域連携活動の充実を両立できる体制を整備する必要がある。
・行政機関の委員会に参画、ボランティア活動で地域住民とのコミュニケーションを図った。
・ボランティアの時間数が減少しているのが気になるが、多くのイベントに参加し、救護班の派遣等地域社会との協働を進めていただきたい。
・取組事項は達成され、積極的な地域社会への貢献も認められる。他方で、ボランティア登録者数と、実働時間が減少している。

４ その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

① 評価結果

加点　１２点

「市施策への協力」の項目について、中期計画を達成している。

【小項目評価による加点の算出】

中項目	小項目	加点比率(a)	法人	評価委員会	
			評価(b)	評価(c)	加点(d)
１地域社会への貢献	（２） 市施策への協力	3	4	4	12

② 特筆すべき小項目評価

１－（２） 市施策への協力　　【評価：４】

・加古川市の各種イベントに救護班として医師・看護師を派遣するとともに、養護学校の修学旅行に小児科医及び看護師が同行するなど、地域行事に対して継続的かつ積極的に協力している点は評価できる。これらの取組を通じて、地域住民の安全・安心の確保や地域との連携強化に貢献しており、地域に根ざした医療機関としての役割を果たしているものと評価する。
・教育委員会が推進する、同性医師の中学校内科健診に女性医師を派遣した。新型コロナウイルスのワクチン接種に参加協力した。
・加古川市主催のイベントに救護班の派遣をする等、地域社会との協働を進めていただきたい。
・コロナ禍におけるワクチン接種事業やスタッフ派遣のほか、加古川市のイベントにも積極的に参加しており、市施策に積極的に協力していると評価できる。